

「講義9 訪問リハビリテーション」小テストの不適切な問題に関するお知らせ

令和4年度調査員要請研修オンラインスクール中の「講義9 訪問リハビリテーション」における小テストに不適切な問題がございましたので、該当する第1問目を削除させていただきました。

不適切問題箇所 ※現在削除済み

「講義9 訪問リハビリテーション」

問題1

訪問リハビリテーションの専門職における役割について説明が誤っているものを選びなさい。

選択肢①

「作業療法士は日常生活における動作の機能回復が専門であるため、利用者の精神面へのリハビリテーションには関与しない。」

選択肢②

「立位、座位、起き上がりなど、利用者の基本動作のリハビリテーションは一般的に理学療法士（PT）が担当している。」

選択肢③

「会話など言語的コミュニケーションに関するリハビリテーションは一般的に**作業療法士（ST）**が担当している。口腔機能についても専門分野であるため、咀嚼・嚥下に関するリハビリテーションや助言などの支援を行う場合がある。」

正解①

上記、選択肢③に誤表記がありました。

誤→**作業療法士（ST）**

正→**言語聴覚士（ST）**

【補足情報】

※言語聴覚士は口腔機能のリハビリテーションについてもその職能であることが一般的です。そのため咀嚼や嚥下に関するリハビリテーションや助言などを行う場合があります。

この度は誤った情報を掲載し申し訳ございませんでした。

現在、講義9の小テストは該当問題を削除し、全2問中1問正解で次の講義に進めるように修正させていただきます。

既に講義9の小テストがお済の方には受講進捗上の影響はございません。

引き続き研修動画の受講をよろしくお願い申し上げます。